

H 2 1 年度センターにおける教員個人評価の集計・分析ならびに自己点検評価項目

1. 個人評価の実施状況

1) 対象教員数は5名

個人評価実施者数は5名

実施率は100%

2) 教員個人評価の実施概要（評価組織の構成、実施内容、方法など）

①センター個人評価実施規則

②個人目標申告書などのフォーマット

2. 評価領域（教育、研究、国際・社会貢献、組織運営、他）別の集計・分析と自己点検評価

(1) 教育の領域

1) 評価項目ごとの実績集計と分析は、センターの人員が少ないために統計的な意味をもたないために行っていない。

2) 教育の領域における教員の活動評価集計と分析

教育の領域におけるセンター教員の活動は、所属する専攻において主に実施されている授業とセンターにおける学部卒業及び大学院修了の研究指導であり、いずれもレベルが高い。

3) 教育の領域におけるセンターの自己点検評価

センター教員による教育領域の活動は、上述のように極めて質が高い。

(2) 研究の領域

1) 評価項目ごとの実績集計と分析は、センターの人員が少ないために統計的な意味をもたないために行っていない。

2) 研究の領域における教員の活動評価集計と分析

研究の領域において、本学の重点領域としてのシンクロトン光応用研究を目標どおり実施しており、センター教員の活動レベルは高い。特に21年度は、軟X線高輝度光源設備の更新のための活動が遂行された。

3) 研究の領域におけるセンターの自己点検評価

センター職員による研究活動は、世界的レベルで行われており、各種事業推進の成果が得られている。国際会議での発表や国際誌での報告などがされており、高品質である。

(3) 国際・社会貢献の領域

1) 評価項目ごとの実績集計と分析は、センターの人員が少ないために統計的な意味をもたないために行っていない。

2) 国際・社会貢献の領域における教員の活動評価集計と分析

国際・社会貢献の領域においてもセンター教員の活動レベルは高い。センター教員が他機関や科研費、JSTなどの審査委員を果たすなどの社会貢献をしている。

3) 国際・社会貢献の領域におけるセンターの自己点検評価

センター職員による国際・社会貢献は、国際協定に基づいた組織的活動の一環として着実に行われており、その実績成果が得られることから、協定継続の話を進めている程、活発に行われている。また、全国的なナノテクノロジー支援ネットワーク事業の参画機関26のうちの一つとして、学外利用者への支援や技術相談に応じるなどの社会貢献をしている。

(4) 組織運営の領域

1) 評価項目ごとの実績集計と分析は、センターの人員が少ないために統計的な意味をもたないために行っていない。

2) 組織運営の領域における教員の活動評価集計と分析

組織運営の領域においてもセンター教員の活動レベルは高い。本庄地区における教育研究と鳥栖地区におけるシンクロトロン光の利用ならびに設備の維持管理と運用、さらに東京支部や上海支部などのネットワークを使って、十二分に活動している。

3) 組織運営の領域におけるセンターの自己点検評価

センターは運営委員会に外部委員が参画しているとともに各種委員会には学外からの委員の協力を得ているなど公開性が高い運営が行われている。また、諮問委員や評価委員を外部委員として配置して、随時自己点検評価と外部評価が可能な体制を備えている。また、九州地域の大学間連携を継続して行っており、着実な組織運営がされている。